

あなたの施設は消防訓練をしていますか？

名古屋市消防局

最近の社会福祉施設の火災

社会福祉施設の火災は人手が少なくなる夜間に起きています！

発生日	用 途	覚知時間	死 傷 者
平成18年1月8日	認知症高齢者グループホーム	2時32分	死者 7名 負傷者 3名
平成20年6月2日	知的障害者施設	2時33分	死者 3名 負傷者 1名
平成20年11月13日	老人福祉施設	1時24分	負傷者 33名
平成21年3月19日	有料老人ホーム	22時55分	死者 10名 負傷者 1名
平成22年3月13日	認知症高齢者グループホーム	2時25分	死者 7名 負傷者 2名
平成25年2月8日	認知症高齢者グループホーム	19時43分	死者 5名 負傷者 7名

これらの火災時の職員の対応は？

パニックになり初期消火
や迅速な119番通報が
行えませんでした。

パニックを
防ぐには？

日頃からの
訓練が必要
です！



どんな訓練をすればいいの？

- ☆ 訓練は人手が少なくなる夜間等も想定して行いましょう。
→少ない人手で裏面の行動を行わなければなりません。
- ☆ 建物の特徴を活かした避難方法を考えましょう。
→階段で外に避難しなくてもバルコニーや隣の区画へ一時的に避難することも有効です。
- ☆ 施設に設置されている消火器などの消防設備の使い方を覚えましょう。
→消防設備も適切に使えてはじめて意味があるものとなります。
- ☆ 役割を決めてチームワークで乗り切りましょう。
→役割分担をすることで各自の行動を軽減できます。



今後の予定

- ☆ 消防用設備等の遡及（平成30年3月31日）に係る追跡指導
- ☆ 消防機関に通報する火災報知設備と自動火災報知設備の連動化
- ☆ 消防隊による施設確認

火災の時、これだけは必要です。

通 報



119番通報

通報内容を掲示しておく。

(住所、名称など)

携帯電話は移動をしながら通報が可能

ボタン1つで自動通報ができる『消防機関へ通報する火災報知設備(火災通報装置)』の設置が有効です。

初 期 消 火



消火器などで初期消火

消火器は、すぐに使える場所に設置しておく。

日頃からの消火訓練が大切です。

火災の際、自動的に消火する『スプリンクラー設備』の設置が有効です。

避 難 誘 導



入所者を安全な場所に避難させる。

すばやく屋外に避難させることが望ましいですが、状況によりバルコニーなどに一時的に避難することも有効です。

素早く安全に避難するため、避難の方法・順序を考えておく必要があります。車いすや寝たきりの方の部屋を、避難口近くに配置することも有効です。

避 難 が 完 了 し た ら

全員の避難が出来たかを確認する。

避難の状況を消防隊に情報提供する。

名簿などを利用して避難者管理をしてください。

訓 練 が 終 わ っ た ら

訓練について反省会を行う。

各自の行動について良かった点、悪かった点を話し合う。

訓練では一人ひとりの「気づき」が必要です。「気づき」が訓練のレベルを高めていきます。